

2026年3月31日

## 多様な利用者を想定し交流・展示・居場所を兼ね備える 龍谷大学を体験する空間「Welcome Lounge」を開設 — 深草・大宮キャンパスに2026年4月オープン —

### 【本件のポイント】

- 交流と学びを深める場として多様な利用者を想定した龍谷大学を体験する空間「Welcome Lounge」を整備
- 2026年4月1日に深草キャンパスと大宮キャンパスで同時オープン
- 中高生をはじめ学外の多様な来訪者と在学生の日常利用にも対応
- 誰もがリラックスして利用できる空間を設え、ここに龍谷大学のあゆみ（歴史・伝統・ブランド）を展示することで、偶然の出会いを通じて本学のファンを増やすことが目的



深草キャンパス



大宮キャンパス

### 【本件の概要】

龍谷大学は長期計画「龍谷大学基本構想 400」を掲げ、様々な事業を展開しており、各キャンパスで交流・学びを深める場の整備を推進しています。この流れのなかで、2026年4月、深草・大宮キャンパス（※瀬田キャンパスは夏ごろ予定）に新たな龍谷大学体験空間「Welcome Lounge」を開設します。

対象として、中高生、卒業生、地域住民、企業関係者など、多様な来訪者を迎え入れると同時に、在学生の日常利用にも対応したコミュニケーション空間として機能します。偶然の出会いを大切にする“余白”を備え、発見や探求、共感など、さまざまな体験が生まれる空間を目指しています。

Welcome Lounge では、大学の歴史や学生の挑戦を動画やパネルで紹介し、龍谷大学の新しい学びや挑戦に積極的に取り組む「進取」の姿勢や龍谷大学が受け継いできた「伝統」を体験できる展示を行います。建学の精神を具現化する多様な取り組みに触れられ、大学の歩みを多角的に理解できる内容で構成しています。また、交流、展示、居場所といった複数の機能を集約しています。時間の流れを心地よく感じられる演出や、歴史と現在が同時に存在するような時空体験も提供します。誰もがリラックスして過ごせる心地よい空間づくりを目指し、滞在を通じて、龍谷大学の魅力を自然と体感できる設えとしています。

龍谷大学はここを“龍谷大学体験空間”として位置づけ、龍谷大学への理解と関心を広げ、多様な来訪者の新たな行動やつながりを生み出す場として育てていきます。

## ▼深草キャンパス：和顔館 1 階

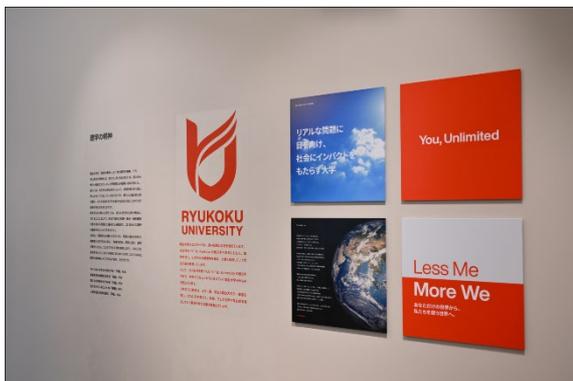
利用方法	開館時間	広さ
予約不要／飲食可	平日：8-22 時／土：8-19 時	約 200 m <sup>2</sup> ／座席数 50 席

### <主な展示内容>



#### 写真・イラスト（あゆみ・取組）

龍谷大学の歴史を、1639 年の創設から 2020 年代までの 8 つの時期に分けて、写真とともに紹介しています。さらに、「あの頃といま」と題し、同じテーマで昔と現在の写真を並べて比較できるパネル展示もあります。加えて、最新の学生の活動を紹介するコーナーも設けています。



#### パネル（建学の精神・ブランディング）

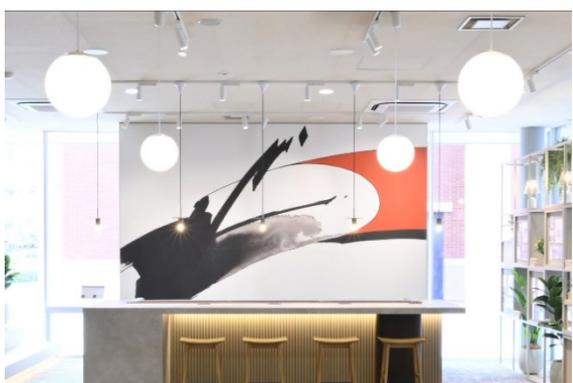
建学の精神や、ブランディングなど本学の基盤となる内容をパネルで展示しています。

ブランディングは、ロゴマークやそれに込めた意味、世界観やスローガン、ブランドストーリーをご覧くださいませ。



#### パネル（サステナビリティ）

本学が取り組んできたサステナビリティ関連の活動を、時系列で紹介しています。特に、全学的にサステナビリティキャンパスの実現をめざして動き始めた 2005 年以降の主な取り組みを掲載しています。地域と連携したメガソーラー発電所「龍谷ソーラーパーク」や、カーボンニュートラル宣言・ネイチャーポジティブ宣言など、本学の環境への取り組みをご覧くださいませ。



#### ウォールアート

Artist JUN INOUE 氏と表具師 井上雅博氏（龍谷大学卒業生）の共同制作で、龍谷大学や Welcome Lounge をイメージした作品です。文化や歴史への経緯を基盤に、新たな挑戦への開かれていく姿をイメージして描かれ、伝統を未来へつなぐ表現として、大学の意志を示しています。

また、本作品は、JUN INOUE 氏が描いたアートを複数の和紙に印刷し、井上雅博氏がそれらをつなぎ合わせて壁に貼り付ける手法で制作しています。

▼大宮キャンパス：東翼 1 階

利用方法	開館時間	広さ
予約不要／飲食可	平日：9-21 時／土：9-17 時	約 100 m <sup>2</sup> ／座席数 35 席

<主な展示内容>



**グラフィック（あゆみ・貴重書・重要文化財）**

龍谷大学の歴史を創設の 1639 年から 2020 年代までを 5 つに分けて展示しています。年表とともに、本学のあゆみを示す主な出来事（トピック）を写真に説明書きで解説を加えています。

アーチ型のデザインは、大宮キャンパスの建物で採用しているアーチ型の窓をモチーフにしています。



**ウォールアート**

本学大宮キャンパスの図書館に所蔵されている奈良絵本『竹取物語』の絵をつなぎあわせて 1 枚のアートにしています。

『竹取物語』はわが国物語文学の祖と言われる作品で、原形は、仏教経典「月上女経」にあります。利用者に「龍谷物語」を紡いでもらうことを願って、龍谷大学発祥の地である大宮キャンパスに物語文学のはじまりを展示することとしました。



**ボックス（龍谷ミュージアム）**

本学が所有する龍谷ミュージアムの情報を集約したインフォメーションボックス。過去の図録や最新の企画展のチラシ、広報誌でのインタビュー記事を展示しています。また、天板には、NHK と龍谷大学の共同プロジェクトとして制作した仏教壁画の高精細デジタル復元などの写真も掲載しています。